

1. 略歴

1991年3月	東京大学文学部中国語中国文学専修課程卒業
1991年4月	東京大学大学院人文科学研究科修士課程中国語中国文学専攻入学
1993年3月	東京大学大学院人文科学研究科修士課程中国語中国文学専攻修了
1993年4月	東京大学大学院人文科学研究科博士課程中国語中国文学専攻進学
1993年9月	北京大学中文系留学（高級進修生として）（1994年7月まで）
1997年1月	東京大学大学院人文社会系研究科博士課程中国語中国文学専攻修了
1997年1月	博士（文学）学位取得
1997年4月	明治大学政治経済学部 専任講師
2002年4月	明治大学政治経済学部 助教授
2007年4月	明治大学政治経済学部 准教授
2010年4月	明治大学政治経済学部 教授
2013年4月	一橋大学大学院言語社会研究科 教授
2018年4月	東京大学大学院人文社会系研究科 教授

2. 主な研究活動

a 専門分野

中国近現代文学

b 研究課題

(1) 中国モダニズム文学の展開

モダニズムを広義にとらえ、中国近現代文学において、西洋の文学技法を学んで中国の現実を描く文学創作がどのように展開したかを解明しようとしている。

(2) 日本人研究者による中国文学研究

日本における中国文学研究が、どのような文脈の中で、いかなる問題意識のもと、どのような成果を生み出してきたかを明らかにしようとしている。

(3) 現在の中国の知的状況

現在の中国の知識界の状況を捉え、その意味を日本に伝えようとしている。

c 概要と自己評価

(1) については、西洋的マルクス主義文芸思想を十分に吸収し、中国の現実に即した理論を構築しようとした胡風およびその周辺の文学活動を総体としてまとめるべく、準備を進めている。また、胡風より一世代前の左翼文芸批評家の彭康の文芸理論について論文を発表した。

(2) については、戦前の中国で「支那通」と呼ばれた井上紅梅の魯迅翻訳について、井上紅梅が目指していた翻訳の方向性を踏まえた上で、実際の魯迅翻訳の細部を検討し、その特徴を論じた。

(3) については、中国を代表する研究者である孫歌氏が日本思想史にとりくんだ研究書『思想史の中の日本と中国』全2部を翻訳、出版した。また中国の建築家であり、建築にとどまらない文化的発言で注目されている王澐著『家をつくる』の共訳に参加した。

d 主要業績

(1) 論文

鈴木将久、「魯迅「狂人日記」日本語訳史考：井上紅梅の場合」、『アジア評論』、第2号、pp.15-31、2020.9

鈴木将久、「中国現代思想の中のウェーバー」、『現代思想』、第48巻第17号、pp.111-119、2020.12

鈴木将久、「革命文学論争における彭康」、『東アジアにおける哲学の生成と発展：間文化の視点から』、pp.344-361、2022.2

(2) 書評

崔元植、『這裡是羅德斯：東亞國際主義的理想與現實』、台湾社会研究雜誌社、『人間思想』、26、pp.146-153、2021

丸尾常喜、『明暗之間：魯迅伝』、上海人民出版社、『上海書評』、2021.9

(3) 学会発表

国際、鈴木将久、「革命文学論争における彭康」、東アジアにおける哲学の生成と発展—間文化の視点から 第四回共同研究会、国際日本文化研究センター、2020.9.27

国際、鈴木将久、「革命文学論争中的彭康」、創造社百年紀念學術研討会、中国人民大学文学院、オンライン開催、2021.12.11

(4) 総説・総合報告

鈴木将久、「海外文学二〇一九年 中国文学」、『文芸年鑑 2020』、pp.86-88、2020.7

鈴木将久、「“社会史視野”的張力」、『文学評論』、2020 年第 5 期、pp.54-57、2020.9

鈴木将久、「期待良性的對話」、『台湾社会研究季刊』、118、pp.165-169、2021.4

鈴木将久、「海外文学二〇二〇年 中国文学」、『文芸年鑑 2020』、pp.86-88、2021.6

鈴木将久、「2021 年上半期の収穫から」、『週刊読書人』、1 面、2021.7.23

鈴木将久、「劉志偉+孫歌『歴史の中に中国を探る』」、『現代思想』、第 50 巻第 1 号、pp.170-176、2022.1

(5) 翻訳

個人訳、孫歌、「思想史中的日本与中国」、鈴木将久、『思想史の中の日本と中国：第I部 歴史の「基体」を尋ねて』、東京大学出版会、2020.11

個人訳、孫歌、「思想史中的日本与中国」、鈴木将久、『思想史の中の日本と中国：第II部 歴史と人間』、東京大学出版会、2020.12

共訳、王澍、「造房子」、市川絃司、鈴木将久、松本康隆、『家をつくる』、みすず書房、2021.6

(6) マスコミ

「方方『武漢日記』が語る中国の深い傷痕」、『論座』、2020.11.27

「文庫×世界文学 28 普遍的な「内なる弱さ」『阿Q 正伝』」、『読売新聞』、9 面書評面、2021.5.2

「1950 年代日本の魯迅研究」、『文芸報』、第 2 版、2021.12.3

3. 主な社会活動

(1) 他機関での講義等

非常勤講師、早稲田大学文学学術院、中国文学研究、2021～現在

セミナー、明治大学教養デザイン研究科、「社会の傷痕の語り方：方方『武漢日記』とその周辺」、2020.10

セミナー、華東師範大学、「淺析瞿秋白《赤都心史》」、2021.5

セミナー、北京大学、「竹内好与中国」、2021.12

(2) 学会

国内、中国社会文化学会理事、2021.4～、日本中国学会理事、2021.4～